

第4学年 国語科学習指導案

令和5年10月16日（月）第5校時
いの町立枝川小学校 児童数23名

育成を目指す資質・能力（第4学年）

【知識及び技能】

○考えとそれを支える理由や事例，情報と情報との関係について理解することができる。

【思考力・判断力・表現力等】

◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。

○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。

【学びに向かう力・人間性等】

○粘り強く，学習の見通しをもって，自分が伝えたい高知県の料理や特産品について考えた理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫しながら，リーフレットに書こうとする態度を養う。

- 1 単元名 「伝えよう！自分がおすすめする高知県の食」
教材名 『ふるさとの食』を伝えよう（新しい国語四下 東京書籍）

2 単元の系統性 B書くこと

	教材	言葉の力
1年	「思い出して書こう」	じゅんじょに気をつけてかく
2年	「同じところ，ちがうところ」	くらべて分かったことを書く
3年	「自分の考えをつたえよう」	自分の考えとその理由を書く
4年	『ふるさとの食』を伝えよう」	理由や事例を挙げて書く
5年	「反対の立場を考えて意見文を書こう」	反対意見を考えて書く
6年	「世界に目を向けて意見文を書こう」	説得力のある意見文を書く



3 単元の構想（全13時間）

（1）単元の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力，人間性等
○考えとそれを支える理由や事例，情報と情報との関係について理解することができる。 【(2)ア】	◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。 【B(1)ウ】 ○書く内容の中心を明確にし，内容のまとまりで段落をつくったり，段落相互の関係に注意したりして，文章の構成を考えることができる。 【B(1)イ】	○粘り強く，学習の見通しをもって，自分が伝えたい高知県の料理や特産品について考えた理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫しながら，リーフレットに書こうとする態度を養う。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○考えとそれを支える理由や事例、情報と情報との関係について理解している。 【(2) ア】</p>	<p>○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。【B(1) ウ】</p> <p>○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。【B(1) イ】</p>	<p>○粘り強く、学習の見通しをもって、自分が伝えたい高知県の料理や特産品について考えた理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫しながら、リーフレットに書こうとしている。</p>

(3) 単元について

<p>①教材観</p> <p>本単元は、学習指導要領における〔思考力・判断力・表現力等〕の「B書くこと」【(1) ウ】において、「自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること」に重点を置いて指導する。そこで、「高知県のおすすめしたい料理や特産品をリーフレットで観光客に紹介する」という言語活動を設定した。本教材は、読み手に分かりやすく伝えるために、自分の考えとその理由や事例を関連付けて書く力をつけるために適した教材である。他教科等で、地域の伝統的な文化に触れるだけでなく、自分がおすすめしたい高知県の料理や特産品について調べるなかで、高知県の食をたくさんの人に知ってもらい食べてほしいという思いをもち、意欲的・主体的に取り組める活動であると考えられる。</p>
<p>②児童観</p> <p>本学級の児童は、自分の思いや考えを言葉にして話したり、書いたりする活動に意欲的に取り組む児童が多い。3年生の単元「パラリンピックが目指すもの」では、分かったことをリーフレットにまとめる学習活動を通して、目的を意識しながら中心となる語や文を見付けて要約することを学習している。また、1学期の単元「みんなで新聞をつくろう」では、知らせたいことが相手により伝わるためには、どのような工夫をすればいいのかを考えながら書くことができた。その学習を通して、写真や図、絵などと自分の考えを結びつけて書くことで説得力が増すことや、見出しの違いで、読み手の興味をひくなど記事の印象が大きく変化することに気付くことができた。</p> <p>一方で、課題解決に向けて必要な情報を取り出し、それらを順序立てて書くこと、事例を加えて詳しく書くことに課題が見られた。また、推敲の学習過程では、目的意識をもって書いた文章を読み返す力に課題が残る。</p>
<p>③指導観</p> <p>本単元では、「観光客におすすめしたい『高知県の料理や特産品』の魅力について、考えと理由や事例を関連づけながら、リーフレットにまとめ、紹介する」という言語活動を設定している。</p> <p>第一次では、伝えたい相手や目的を意識して意欲的に取り組めるように、単元計画や単元のゴールを児童と共有する。まず、社会科の学習等を想起させ、タブレットを活用しながら、知っている高知県の特産品を出し合う。その活動のなかで、高知県には魅力的な特産品がたくさんあることを知ることで、誰かに伝えたいという思いを引き出す。児童が伝えたい思いを高めた上で、リーフレットを作成する目的を共有する。そして、身の回りにあるリーフレットを紹介したり、教科書を提示したりして、学習の見通しをもてるようにする。</p> <p>第二次では、自分がおすすめしたい高知県の料理や特産物についての情報を集め、理由や事例を挙げながらリーフレットを作成する活動を行う。まず、自分が紹介したい物の情報収集をし、既習を使ってリーフレットの1つ目の事例を作成する。その後、作成したリーフレットが「おすすめしたいことの良さ」が伝わる内容になっているか考えさせる。そして、「うまく書けない。」「どうやって書いたら良さが伝わるのか知りたい。」という児童の気持ちを共有した後、もう一度、教科書に戻り、自分の書いた文章と教科書の文章を比べ表現の仕方や書き方などに着目させる。その際、おすすめする考えと理由や事例を関連させる</p>

と説得力が増すことや、理由や事例を表すときに用いる言葉など書き表し方の工夫に気付かせ、どのように書くとよいか見通しをもたせた後、インターネットで調べたり家の人に聞いたりして情報を集めていく。リーフレットの作成を行う前に教師作成の「しょうがリーフレット」のグッドモデルやエラーモデルを使っておすすめしたい考えと理由、理由と事例、事例と事例がつながっているか、構成や書き方を自分の文章と比較しながら考えさせる。そして、観光客に対して、おすすめしたい料理や特産品をどのような理由や事例と関連付けて知らせると分かりやすいのかなど文章の構成を検討したりして、リーフレットを書き進めていく。また、6年生と連携をとりおすすめする高知県の料理や特産品の魅力が伝わるリーフレットになっているか感想をもらって、より伝わりやすい文章にしていく。

第三次では、作成したリーフレットを紹介し合いおすすめの考えと理由や事例を明確にすることで魅力がより伝わるように書き表し方を工夫し、相手により伝わることを共有し、書く力や推敲する力が向上したことを認識できるようにしたい。

単元を学習した後、作成したリーフレットを図書室に置いて校内の人に見てもらい感想をもらったり、いの町にあるレストパークなど観光客が多く買い物に来る店に置いてもらったりして「伝わった。書いてよかった。」という達成感を味わわせたい。

(4) 単元の指導計画 (全 13 時間)

次	時	主な学習活動	見方・考え方を働かせる姿	学習活動における評価規準と評価方法
第一 次	1・2	○学習課題をつかみ、学習の見通しをもつ。 ・「自分のおすすめする高知県の料理や特産品の魅力を伝えるリーフレットを作る」という学習課題を共有する。 ・高知県の料理や特産品を出し合い、理由を伝え合う。 ○リーフレットの特徴を知る。	○高知県にはおいしい食べ物がたくさんあるから、たくさんの人に知ってほしいな。どんなものを紹介しようかな。 ○3年生の学習が生かせそうだな。 ○見出しや写真があると何が書いてあるのかが分かりやすいね。	
	3	○おすすめするものの魅力を伝えるために情報収集する。 ・インターネットで調べたことをメモに書き出す。	○△△が□□だから、伝えたいな。 ○前に食べた△△がおいしかったな。 ○調べたことを使ってリーフレットを書きたいな。	【知識・技能】 考えとそれを支える理由や事例、情報と情報との関係について理解している。 (ロイロノート)
第二 次	4	○リーフレットを作成する。 ・集めた情報を使って、文章を書く。	○どんなことを紹介できるかな。 ○△△の良さを伝えるために□□を書けばいいのかな。	【思考・判断・表現】 「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 (ロイロノート)
	5	○構成や書き方の工夫を考える。 ・教科書を参考に、構成や書き方を考える。	○理由や事例を入れると分かりやすいね。 ○理由に合った事例を書かなければならないね。	【知識・技能】 考えとそれを支える理由や事例、情報と情報との関係について理解している。 (ノート)
	6	○おすすめしたい料理や特産品を見直す。 ・おすすめしたいものの良さが伝わる理由を考える。	○この理由では、伝わらないからもっと情報がほしいな。 ○今の特産品では、情報が集めにくいから別の特産品にしようかな。	【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く、学習の見通しをもって、自分が伝えたい高知県の料理や特産品について考えた理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫しながら、リーフレットに書こうとしている。 (発言・ロイロノート)

7 ・ 8	○おすすめするものの良さを伝えるために情報収集する。 ・インターネットで調べたことやお家の人への取材によって集めた情報をメモに書きだす。 ・教員が作成したエラーモデルやグッドモデルを使い、理由や事例に沿った情報収集ができているのかを振り返る。 ・おすすめする理由や事例に適した情報を選択する。	○自分がおすすめしたいものをもっとよく知らないと言えない。 ○分からないことはインターネットで調べたり家の人に聞いてみたりしよう。 ○経験を書いたら読む人に分かりやすいかな。	【思考・判断・表現】 「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 (ロイロノート)
	○リーフレットの割り付けを考える。 ・集めた情報のメモをもとに、文章の組み立てとリーフレットの割り付けを考える。	○ここに写真や絵があると分かりやすいな。 ○最初に、○○のことを書いたら読む人に分かりやすいかな。	【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く、学習の見通しをもって、自分が伝えたい高知県の料理や特産品について考えた理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫しながら、リーフレットに書くとしている。 (発言・ロイロノート)
	○リーフレットを作成する。 ・読み手に伝わるようにおすすめしたい理由とその事例を関連付けて文章を書く。 (本時) 1/3 ・読み直して目的に応じた表現になっているのかを確かめる。	○自分が食べたときの感想や作り方を入れると、相手に分かりやすいな。 ○理由を表す言葉を使うと相手に分かりやすく伝えることができるな。 ○比べて書くともっと分かりやすいかな。	【思考・判断・表現】 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(発言・リーフレット・ロイロノート)
	○単元を振り返り、学習を通して分かったことや思ったことを伝え合う。 ・伝えたいことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。	○理由だけではなく、事例を入れると分かりやすくなるということが分かった。	
第 三 次	13		

4 本時の指導

【身に付けた力の活用】

相手に自分のおすすめする理由を伝えるために、理由だけでなく、それを補強する事例を挙げて、文章を書くことができる。

(1) 目標 おすすめしたい高知県の料理や特産品が伝わるように、自分の考えと理由や事例を関連付けて書き表し方を工夫することができる。

(2) 評価規準 おすすめしたい高知県の料理や特産品が伝わるように、自分の考えと理由や事例を関連付けて書き表し方を工夫して書いている。

(3) 本時の学習について

【目指す子ども像】

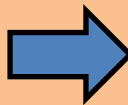
- ・おすすめしたい高知県の料理や特産品が伝わるように、自分の考えと理由や事例を関連付けて書き表し方を工夫している姿。

学びを深める問い

おすすめする理由を伝えるためには、どのような文章を書けばいいのかな。

思考を深める手立て

- ・「おすすめする理由を伝えるためには、どのようなポイントがあったのかな。」と問いかけ、リーフレットに書く時のポイントを確認していくことで、おすすめしたいことが伝わる文章を書けるようにしていく。



考えを深める対話

- ・読み手に分かりやすく伝えるためにどんなことを書いたらいいかな。
- ・調べたことだけ書いても読み手には伝わらないね。
- ・おすすめする理由や例を詳しく書くといいね。
- ・自分が食べた時の感想なども入れるといいね。

振り返り

- ・ぼくは、〇〇をおすすめしたいです。わけは、△△だからです。△△なことを観光客に伝えるために◎◎という言葉を使ってくわしく表しました。～さんは、例えばという言葉を使って例を挙げて、●●という言葉を使っていて分かりやすかったのので、ぼくももう少し違う言葉はないか考えたいです。

(4) 本時の展開 (10/13)

	主な学習活動 ・主な児童の反応	○発問・指示 ◎教師の働きかけ ☆支援を要する児童への手立て	評価規準 評価方法
つかむ	1 リーフレットに載せる文章のポイントを確認する。 ・おすすめする理由やそれについての具体的な事例を書く。 ・魅力を伝えるために、見出しや写真などさまざまな工夫をする。 ・他のものと比べるときには『～よりも～』という言葉を使う。 ・丁寧な文章で書く。	○リーフレットに載せる文章には、どんなポイントがあったかな。 ◎教師作成のしょうがリーフレットで学習したことを確かめながら書く意欲につなげる。	
	2 学習課題をつかむ	おすすめする考えと理由や事例をつなげながら文章を書こう。	
	3 おすすめしたい理由と1つ目の事例を書く。(ロイロノート) ・～をおすすめする理由は、～だからです。そのことが分かる例を、3つ挙げます。	○どんな工夫をすれば相手に分かりやすく伝えることができるかな。	

